

Hib ワクチン接種後健康状況調査の統計学的解析

(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料)

Hibワクチン接種後健康状況調査 の統計学的解析(二報)

平成22年度厚生労働科学研究費補助金(新型インフルエンザ等新興再興感染症研究事業)(研究代表者:岡部信彦国立感染症研究所感染症情報センター長)「ワクチン戦略による麻疹および先天性風疹症候群の排除およびワクチンで予防可能疾患の疫学並びにワクチンの有用性に関する研究」分担報告

大日康史1)・菅原民枝1)・多屋馨子1)・富樫武弘2)
・岡部信彦1)

1)国立感染症研究所感染症情報センター

2)札幌市立大学客員教授

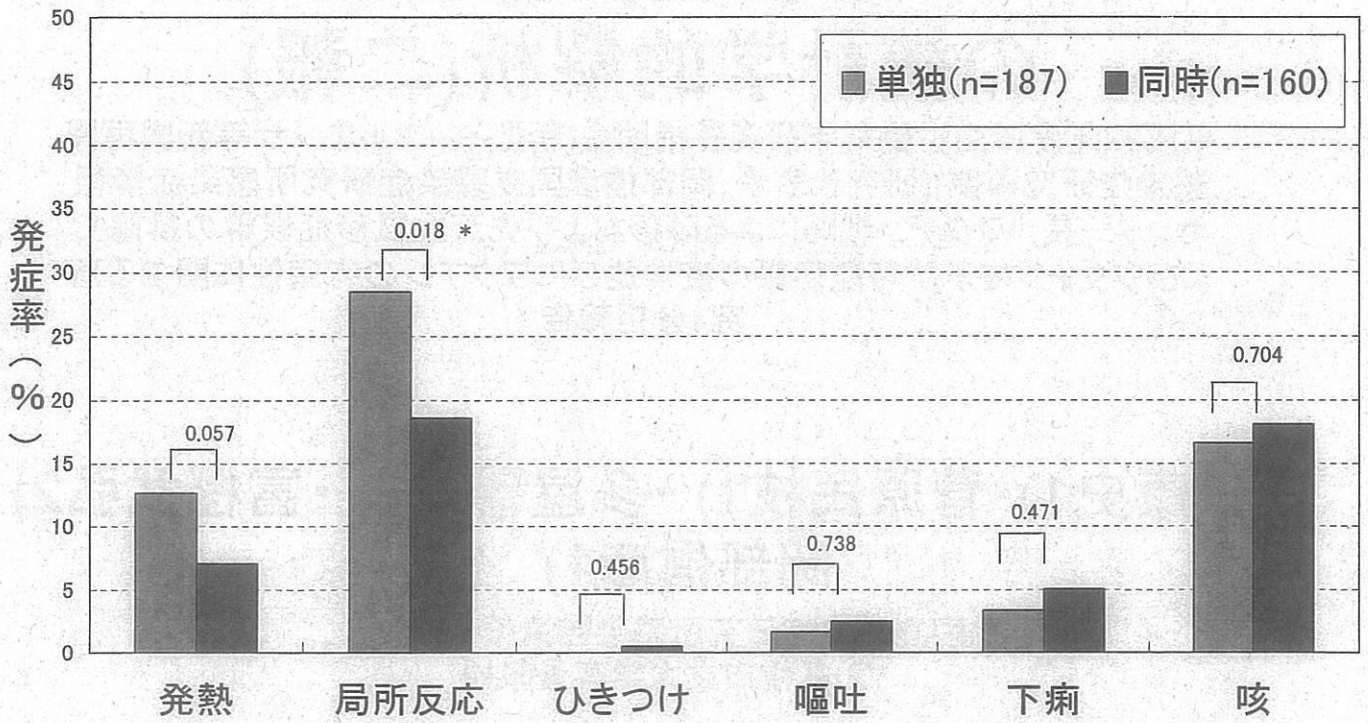
-1-

調査

- Hibワクチン(アクトヒブ®)を納入した医療機関から、全国750カ所を無作為抽出し、平成21年3月から平成22年3月までに各施設最大10例のHibワクチン被接種者の接種後28日間の健康状況と副反応調査を依頼した。(出典:富樫武弘「Hibワクチン被接種者の健康状況と副反応調査」,平成21年度厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興再興感染症研究事業「ワクチン戦略による麻疹および先天性風疹症候群の排除、およびワクチンで予防可能疾患の疫学並びにワクチンの有用性に関する基礎的臨床的研究」分担研究報告書,2010.)
- 調査に対して回答があったのは1879例であった。この内、接種時年齢0歳は1149例であった。この中から、Hibワクチン単独接種群とDPTワクチンとの同時接種群を選び出し回数毎に比較した。
- 検定はFischerの厳密統計量

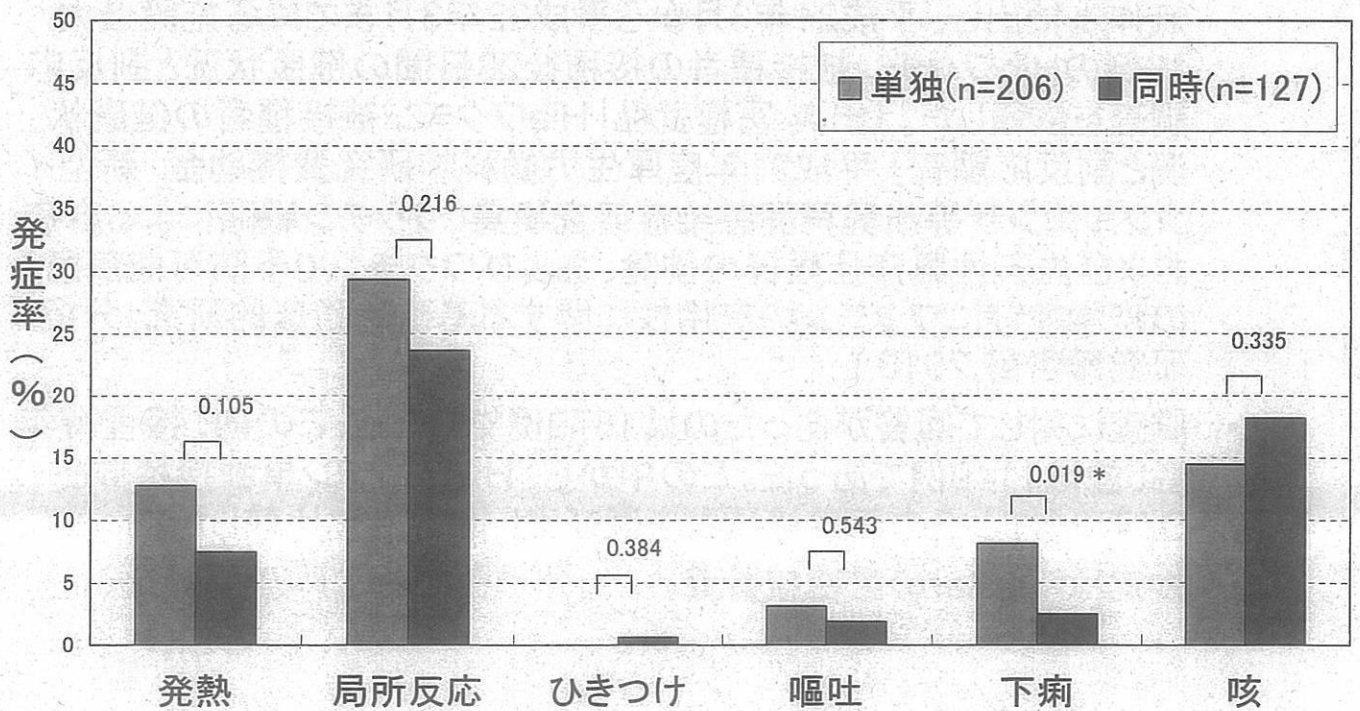
-2-

0歳1回目 (n=347)
 単独平均年齢7.27ヶ月 (SD2.36)、同時平均年齢5.60ヶ月 (SD1.52)



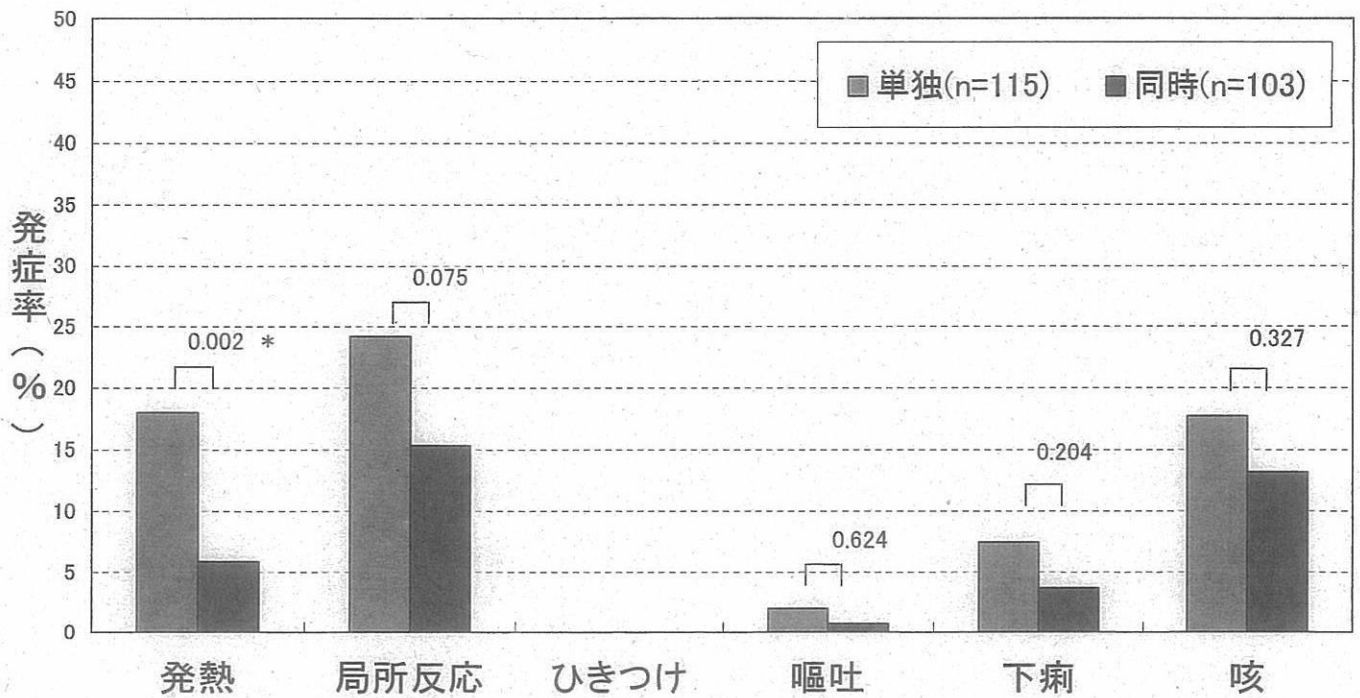
-3-

0歳2回目 (n=333)
 単独平均年齢8.44ヶ月 (SD1.96)、同時平均年齢6.18ヶ月 (SD1.56)



-4-

0歳3回目 (n=218)
 単独平均年齢7.72ヶ月 (SD1.27)、同時平均年齢6.83ヶ月 (SD1.21)



-5-

まとめ

- HibワクチンとDPTワクチンの同時接種群と、Hibワクチン単独接種群について、接種後28日間の健康状況を比較検討した。
- 同時接種の方が、単独接種よりも有意に高頻度に発生した有害事象はなかった
- したがって、同時接種によって有害事象が増加する、とする根拠は得られなかった

-6-